

2倍速で何かを身につける方法2

#勉強マインド
セット
#プラトール



JOBA蘇州校
[こちら](#)からアクセス



JOBA本部
蘇州校の皆さまも参加可能な
[オンラインイベント](#)多数

SUZHOU通信

子どもが『自分は認められている』と実感できる機会・場面を、意識してたくさん創出する

プラトールを制するものは、受験を制す

引用著書 | 達人のサイエンス (ジョージ・レナード)

11月号では、物事が上達できる人とそうでない人との違いとは何か？についてお話ししました。『成長を感じられなくなる期間』である”プラトール”をどう乗り越えていくかがキーワードでした。今月は少し視点を変えて、何もマスターできない人の特徴とプロになる人の考え方についてお話ししていこうと思います。

①プラトールの期間に心が折れてやめてしまう人の特徴2つ 新しいもの好きで違うことを始めてしまう 向上心がない

①「〇を始めよう！」と思った時は、楽しめますが成長を実感できなくなると途端にやる気を失い、そして言い訳をし始めます。「言われた通りにしても意味ない」「自分は勉強に向いていない」そういつて、やってきたことを辞めてまた新しい勉強、ゲーム、スポーツをやり始めます。最初の成長だけを求めて…。だからどれも中途半端になるのです。

②「情熱のないタイプ」です。勉強も努力も文句も言われぬ最低限度しかやらず、自分からは何も学ぼうとしません。口癖は「そんなこと知りません。分かりません」です。

そして彼らは一生気づくことはありません。プラトールに耐えて頑張っていれば、その先に成長があることに。

②プロになる人はその物事が好き 達人はプラトールを嫌なものとは思っていない

なぜならプラトールとはゲームで言うレベルは上がらないけど、モンスターを倒して経験値を獲得している時期だと考えているのです。確かに表面上は上達してはいませんが、練習を続けていけばいつかレベルが上がることを知っているからこそ、心が折れないのです。周囲の人からは「アイツは意味がないのに努力してるよ!」とか「才能がないから努力しても無駄」と笑われることもあるでしょう。まさにプロの道は、忍耐の道なのです。

しかし、いつかこのプラトールを越えられることを知っている人たちは、周りを気にせずに練習を続けることができるのです。そして「プロになる人は物事そのものが好き」と言うのも重要な要素でしょう。陸上選手ならそもそも走ることが好きと言う感じで、プロゲーマーならそもそもゲームが好きで、料理人ならそもそも料理をするのが好きなのです。だからプラトールの期間が来ても向き合い続けることができるのです。「好きこそ物の上手なれ」とはまさにこのことで、やはり好きなことをするのは大事ということです。

③プロになる人は学び続けることをやめない ただ同じことを毎日練習しているだけではダメ

そもそもなぜ私たちは学ぶのでしょうか？賢くなるためでしょうか。それは「変化」するためです。変化するために学ぶのです。

本を読むのは「なるほど。こんなやり方があるんだ!」と知って「変化するため」なのです。こんなふうにプロと呼ばれる人たちは、他にもっと優れた方法や、やり方があるのではないかと常にありとあらゆるものから新しいものを学んで、変化しているのです。

場合によっては変化したけど失敗することもあるでしょう。新しいやり方を試したら、得点が下がってしまったということも…。それでも何度も立ち上がりトライし続ける。それが達人なのです。

中編終了



今月の一枚
マリトッツォはパンを指します。
生クリーム入りのこの商品の
正式名称は
マリトッツォ・
□□□□□□□□